

第2次滝川市子どもの読書活動推進計画 (2019年～2023年) 概要版



Takikawa City Library



2019年3月
滝川市教育委員会

本を読んで大きくなあれ!!～みんなで取り組む子どもの読書活動の推進

基本方針

- ①読書習慣を身につけるために発達段階に応じた効果的な取り組みを進めます。
- ②友だち同士で本を紹介するなど読書への関心を高める取り組みを充実します。
- ③家庭、地域、学校など社会全体で取り組めるように、環境や体制の整備に努めます。
- ④行政、企業、団体などと連携を図り、読書環境を充実します。
- ⑤学校など教育機関との連携をさらに深め、読書活動を推進します。

対 象

- 0歳前から高校生
- 保護者
- 子どもをとりまく大人

実施主体

- 家 庭
- 地 域
- 子どもと大人が集まる施設
- 幼稚園・保育所・託児所
- 学 校
- 図書館

目 標

- ①家庭・地域・学校などを通じた、社会全体での子どもの読書活動の推進
- ②子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
- ③子どもの読書活動に関する理解と関心の普及
- ④読書活動を通じた、子どもたちの「学ぶ力」を育む取り組みの推進

重点的な取り組み

- ①読書習慣を身につける
生涯にわたる読書習慣を身につけるには、幼い頃からの読書活動が大切です。そのために親子で本に親しむ機会や取り組みを充実します。
- ②学ぶ力を育む
調べ学習の支援強化を図り、自分で調べることの楽しさを伝えるなど、読書活動を通じて「基礎学力」や「調べる力」を身につけるための取り組みを充実します。
- ③読書環境の充実
図書館学級文庫をはじめ、施設、団体への貸出文庫の充実を図り、本と出会う機会を提供します。

発達段階ごとの特性

- 0歳前
お母さんがおなかの赤ちゃんに読み聞かせをすることで、生まれてきた赤ちゃんが、お母さんの声を認識して安心したり、お母さん自身の心の安定が図られます。
- 乳時期
大人からの語りかけによって、言葉を獲得していく時期です。読み聞かせによって、親子の絆を深めることができます。
- 幼児期
言葉が豊かになり、色々な本に興味を示し始め、自らの力で本を読むことにつながっていく時期です。
- 小学生
文字を覚え、読書の喜びを知り、徐々に主体的に読書の習慣を身につけていく時期です。
- 中学生
勉強等で、読書時間が減少する傾向が出てくる時期です。読書の習慣づけの取り組みとともに広がる趣味・関心に応じた読書環境の整備が重要です。
- 高校生
不読率が増加する時期です。本との出会いが、人間的成長のきっかけにもつながることから、身近な人たちからの、本を薦める取り組みが大切です。

子どもの読書活動の推進のための方策・主なアクションプラン

	0歳前	乳幼児	小学生	中学生	高校生	特別な支援を必要とする子ども	子どもをとりまく大人
家 庭		家読タイムの実施					
地 域		出張おはなし会の活用 					読み聞かせ活動への参加 読み聞かせや朗読講座への参加
子どもと大人が集まる施設	妊婦対象講座での啓発	貸出文庫の活用				出張おはなし会の活用	
幼稚園 保育所 託児所 学 校		出張おはなし会の活用 貸出文庫の活用	図書館学級文庫 貸出文庫の活用 図書館との連携による 学校図書館の整備 調べる学習コンクールへの参加				 
図書館	妊婦対象講座での講話  	出張おはなし会の内容充実 団体貸出の利用者拡大 本や体験を通して親子がふれあう機会の拡大	パスファインダーやガイドブックの充実と活用 調べる窓口の開設 調べる学習体験講座の開催 調べる学習コンクールの開催	単元に合わせた資料リストの作成 部活動やボランティア活動の情報発信や成果発表の場の提供 スマートフォンの読書環境への影響の検証 		出張おはなし会内容の充実  	読み聞かせ活動参加機会の拡大 学校図書館支援ボランティアとの連携 読み聞かせ朗読講座への参加促進 読み聞かせ機材内容の充実 スマートフォンの読書環境への影響の検証